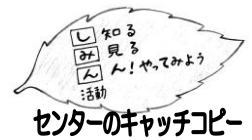


あすぴあだより

小平市民活動支援センター

10月



あすぴあホームページが 9月22日から新しくなりました。

全体的にすっきりした感じです。一番利用の多かった会議室利用状況のページはほとんど変わっていませんので、これまで同様ご利用ください。新着情報が一番上にありますので、「NPOフェスタのチラシができた」「紙折り機が新しくなった」という最新情報がすぐにアップされるようになりました。台風接近に伴う緊急のお知らせなどもここに載ります。みなさまの感想やご意見をお待ちしております。

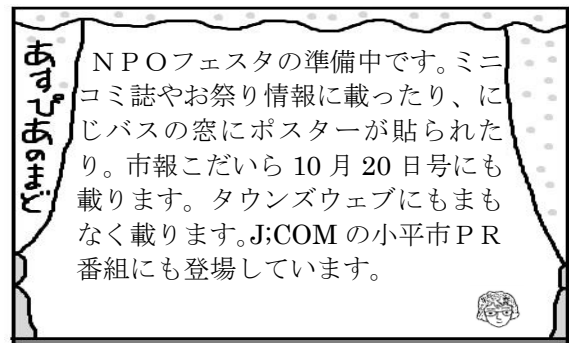


「プアナ・ティアレ（フラダンスの会）」が10/23まで展示中。NPOフェスタ後は「学び舎江戸東京ユネスコクラブ」の予定。展示をご希望の団体はあすぴあ窓口までお知らせください。

2010.4.1からNPO法人小平市民活動ネットワークが指定管理者として小平市民活動支援センターの管理運営をしています。

新しい本が入荷しました。
個人の方もご利用ください。

- 『地域包括ケアの展望』
社会保険研究所 宮島俊彦著
- 『地域包括ケアのすすめ』
東京大学高齢社会総合研究機構（編）
- 『人がつながる居場所のつくり方』
日野社会教育センター著
- 季刊『まちぽっと』2014年春号
認定NPO法人まちぽっと発行
- 『NPO・地域づくりのお悩み解決ヒント集』
NPO法人新潟NPO協会



お問合せは小平市民活動支援センターあすぴあへ
☎ 042-348-2104、9:00~17:00
(月・祝および奇数月第2日曜休館)
E-mail: info@kodaira-shiminkatsudo-ctr.jp
URL: http://kodaira-shiminkatsudo-ctr.jp



☀ 助成金情報 ☀

詳細についてはそれぞれのホームページでご確認ください。

草の根市民基金・ぐらん 助成団体募集

【対象団体および対象費用】東京都内で、食・地域福祉・環境・働く場づくり・教育・その他さまざまなテーマで活動する市民団体/NPO。形状的な運営費の一部や事業たちあげのための費用。

【助成金額】1団体50万円を上限、総額350万円

【〆切】10月31日（金）当日消印有効

【問合せ】[NPO まちぽっと内 草の根市民基金・ぐらん事務局](http://citizensfund-grand.org/applicant/entry.html) ☎03-5941-7948 FAX03-3200-9250
E-mail: info@machi-pot.org

<http://citizensfund-grand.org/applicant/entry.html>

★説明会：10月20日（月）昼の部（14:00~15:00）、夜の部（18:00~19:00）、要申込

損保ジャパン記念財団 NPO 基盤強化資金助成

●「認定NPO法人取得資金」助成

【対象団体】社会福祉分野で活動し、認定NPO法人の取得を計画している特定非営利活動法人。仮認定含む。また2014年4月1日以降に認定NPO法人の取得申請

をすでに提出している団体も対象。

【助成金額】1団体30万円、総額600万円。用途は問わず。但し、原則2016年3月末までに所轄庁に「認定」申請を行うこと。

●「組織の強化」と「事業活動の強化」助成

【対象団体】北海道、東京都、中国地区、四国地区、九州地区、沖縄県に所在する特定非営利活動法人・社会福祉法人

【助成内容】◆団体の基盤強化に結びつく事業に必要な費用 ◆組織の強化に必要な費用 ◆事業活動の強化のために行う、主に新たな事業、あるいは既存事業の拡充・サービス向上に必要な費用

【用途】本助成事業に関する人件費（助成額の30%限度）・物件費

【助成金額】1団体50万円を上限、総額900万円
上記2件とも【〆切】10月31日（金）当日消印有効

【問合せ】公益財団法人損保ジャパン記念財団

☎03-3349-9570 FAX03-5322-5257

<http://www.sj-foundation.org/>

コープみらい 暮らしと地域づくり助成

【対象団体及び分野】公益を目的とした団体で、埼玉県、千葉県および東京都に活動拠点があり、すでに活動している団体。①食・食育 ②消費者の権利 ③福祉、健康 ④子ども・子育て、次世代支援 ⑤教育、文化、スポーツ ⑥環境保全 ⑦地域社会参加、行政との連携、NPO・NGO との連携 ⑧人権、平和、国際協力・交流 ⑨防犯・防災、災害支援の分野。

【助成金額】1団体10万円を上限。活動・事業計画予算額の半分。

【対象事業期間】2015年3月21日～2016年2月末日

【〆切】11月14日(金)当日消印有効

【問合せ】

http://mirai.coopnet.or.jp/info_cam/jyoseikin/

東京都・セブン-イレブン記念財団 東京の緑を守ろうプロジェクト

【対象事業】今ある緑を守る活動、まちの緑を増やす

活動や緑とのふれあいを促進する市民活動

【対象事業期間】2015年3月1日～2016年2月29日

【助成金額】3年間助成：年間30万円までを最長3年間 単年度助成：年間10万円まで

【〆切】12月10日(水)消印有効

【問合せ】一般財団法人セブン-イレブン記念財団 東京の緑を守ろうプロジェクト助成係 ☎03-6238-3872 FAX 03-3261-2513 <http://www.7midori.org>

★特別企画：「みどりのコトはじめフィールドサロン」世田谷を拠点に、都市型のコミュニティガーデンをつくる活動をしている「たぬき村」を尋ねます。そのプログラムの中で、本助成事業の紹介と質疑応答の時間があります。

【日時】11月3日(月・祝)14:00～17:00

【場所】たぬき村(世田谷区)【定員】25名

【参加費】無料

【問合せ】[東京の緑を守る将来会議\(NPO birth\)](#)内

☎042-439-5132 E-mail:info@tokyo-midori.net

特集 みこしプロジェクト 第1弾 「ヤキモタイムからはじまるつながりのはなし」のその後のはなし

5月17日(土)に実施したみこしプロジェクトのイベントでの交流がきっかけで、夏休みにひとつの動きがありました。主催者のひとり、細江学さんにお話を伺いました。

実家近くの津田町に引っ越してきた細江さん。ボーイスカウト時代の幼なじみ・菊池琢さん直美さんご夫婦とご近所になり、交流が再開。自治会のつながりが疎遠になってきていることが話題にあがり、「何かイベントができたらいね!」と話していたそうです。

そんな時に参加した上記『ヤキモタイム～』で小平はぐくみプロジェクト(通称“こだはぐ”)メンバーと知り合い、「何か一緒にできたらいね!」と連絡先を交換。「お父さん達にも活躍してもらいたい!」と思っていた“こだはぐ”メンバーとの間で、「地域の子もたちに夏休み最後にとびっきりの思い出をあげよう!」と、8月30日(土)に子どもキャンプ場でイベントをやるべく話が進み、6月頃から準備をスタート。バーベキューをちょっと大きくしたノリでB・BBQ(ビッグバーベキュー)大会とし、焼きそば・焼き鳥だけでなく、流しそーめんやスイカ割り、小平市出身のジロー今村氏によるパフォーマンス、日没時のキャンプファイヤーまで、一日たっぷり使ったイベントになりました。心配していた雨にも降られず、当日参加のパパたちにもいろんな係を割り振って手伝ってもらい、200名弱の親子で大いに賑わったそうです。「少しで帰ろうと思っていたのに、楽しくて帰れなくなった!」という来場者の声や、「今度は計画段階から参加したい!」という当日のみお手伝いの人の声は大成功の証でしょう。

実施までの約2ヶ月間に3回の実行委員会(実行委



員10人)を開き、その間の連絡手段は今どきの若い世代らしくLINE。とはいえ、企画書を作ったり段取りや諸々の手配を考えたりと、夜な夜な細江&菊池夫妻が打合せたと聞き、日中は仕事に忙しいパパたちが地域でこのようなイベントを実施することは結構大変だったろうと思いました。でも、「積極的にパパたちにも関わってもらおうことで、我が子やその友達、そしてその親たちと交流しよう」という目的で実施されたこのイベントは、まさしく上記『ヤキモタイム～』で聞いたことを実践に移したものと言えましょう。そして、もうひとつの目的である「今後、自治会でのお祭り開催に向け、経験値の向上」も達成できたようで、細江&菊池コンビの間では自治会での顔の見える関係づくりに向けて密かに何か計画が進んでいるようでした。

みこしプロジェクト第1弾のイベントでは、年代も経験も考え方も違ういろんな人達が集い、自己紹介し合って知り合うという、いたってシンプルな企画を実施しました。その結果、そんな場でなければ出会わなかったであろう人たちが出会ったり、このB・BBQ大会のような展開が見られたことは、うれしい成果でした。(田原)